

議案第54号 資料

市立高等学校における外国につながるのある生徒の現状について

- 1 日本語支援が必要な生徒（令和3年10月文部科学省提出調査）
全日制 2名、定時制 21名（日本国籍含む）
- 2 支援の内容
日本語支援員（非常勤講師）を配置し、日本語指導の授業を実施するとともに、学校生活継続の支援を行う。

令和4年度神奈川県公立高等学校入学者選抜における在県外国人等特別募集について

- 1 目的
国際化の進展に伴い国際人の育成が求められたことから、海外帰国の生徒や在県外国人の生徒、留学生等を受け入れ、一般県民の子弟との共育により、国際教育を行うため、在県外国人等特別募集を行う。
- 2 経緯
平成7年度入学者選抜において、神奈川県立神奈川総合高等学校で初めて「在県外国人特別募集」を実施した。志願資格は、外国籍の者で、入国後の在留期間が通算で3年以内の者とした。その後、平成20年度入学者選抜から「日本国籍を取得して3年以内の者」も対象とし、「在県外国人等特別募集」と名称変更した。また、学習言語の習得には6年程度必要であるとの専門家の意見を参考に検討した結果、令和4年度入学者選抜より、入国後の在留期間が通算で6年以内の者とした。
- 3 志願資格
神奈川県公立高等学校の志願資格を有する者のうち、外国の国籍を有するもの（難民として認定されたものを含む。）で、入国後の在留期間が通算で6年以内の者（令和4年度入学者選抜においては、令和4年2月1日現在）とする。
なお、日本国籍を取得して6年以内の者（令和4年度入学者選抜においては、令和4年2月1日現在）は外国の国籍を有する者とみなす。
- 4 検査の内容
学力検査及び面接を実施する。学力検査は、国語、数学及び外国語（英語）とする。
- 5 在県外国人等特別募集を行う高等学校
全日制 16校、定時制 2校
- 6 通学区域
神奈川県内